



7月の半ばを過ぎ、暑さも本格的になってきました。これからは部活の大会や受験準備もあり、忙しくなりますね。しかし長期の休みにも入るので、特別貸出を利用して、たくさんの本に触れてみてください。



夏休み前の特別貸出

期間 7月14日(水)～20日(火)
冊数 5冊まで
返却 9月3日(金)までに返却すること



返却についてのお知らせ

8月3日(火)は蔵書点検を行います。
現在、返却期日を過ぎている本を持っている人は、夏休み前に必ず返却してください。
延滞している本がある人は、夏休み前の特別貸出をすることができません。

7月の紹介本は2類です。



□ 210『テーマで歴史探険』

河合敦：著

犬や日本刀、服装、トイレなど教科書にはのらない事柄や物についての歴史を探っていく本です。

□ 288『わたしの名字はどこからきたの?』

十日市晃子：著

小学6年の著者が、自分の名字の由来を知るために様々な所から情報収集をし、様々な人の話を聞きながら、名字と先祖について、深く知っていきます。

8月30日(月)からの本の貸出について

夏休み前に借りていた本や、特別貸出で借りた本をすべて返却した人から、通常の貸出を再開します。

7月16日は虹の日

由来は、「7(なな)1(い)6(ろ)」という語呂合わせと、この時期に梅雨が明け、大きな虹が出ることが多いことからきています。

📖『虹色ほたる 永遠の夏休み』 川口雅幸：著

一人で父との思い出の場所であるダムにきた小6のユウタ。不思議な老人を助けた後に事故で気を失うと、そこにはダムの底に沈んだはずの小さな村がありました。

📖『虹の谷のアン』 モンゴメリ：作 村岡花子：訳

アン・シャーリーの子供達と新任教師メレディス一家の子供達が、虹の谷で生き生きと遊んでいる日常をつづっています。『赤毛のアン』の続編で、アンが41歳の頃の話です。

📖『サバクの虹 坪田譲治名作選』 坪田譲治：作 坪田理基男 他：編

草木のない野山に雨が降り虹が出ると、そこに木が立ち花が咲いて、生き物が生まれます。しかし、日照りが続き元の砂漠に戻ってしまいます。この表題作の童話は、戦後の日本を表していると言われています。



この本、読んでみませんか? (図書委員 小暖さんのおすすめ)

『ふるい怪談』 京極夏彦：作 染谷みのる：絵

この本は、「耳囊」という江戸時代の本を書き改めて補足されたものです。“怪談”といっても、怖い話だけでなくマッサージをする猿の話や、貧乏神をまつる祠の話など、不思議かつおもしろい話もたくさんあります。

一話一話の話も短いので朝読書にもピッタリです。河童の話や皿屋敷など有名な話もいくつかあります。怖い話好きも面白い話好きも楽しめる一冊です。

